

中心市街地活性化に関する認定及び相談状況

(平成19年10月9日現在)

参考資料5

○認定状況

- ・ 現在、18市の基本計画を認定。

(参考)認定18市の内訳

平成19年2月 8日 2市 (富山県富山市、青森県青森市)

5月28日 11市 (岩手県久慈市、石川県金沢市、岐阜県岐阜市、広島県府中市、山口県山口市、香川県高松市、熊本県熊本市、熊本県八代市、大分県豊後高田市、長野県長野市、宮崎県宮崎市)

8月27日 5市 (北海道帯広市、北海道砂川市、千葉県千葉市、静岡県浜松市、和歌山県和歌山市)

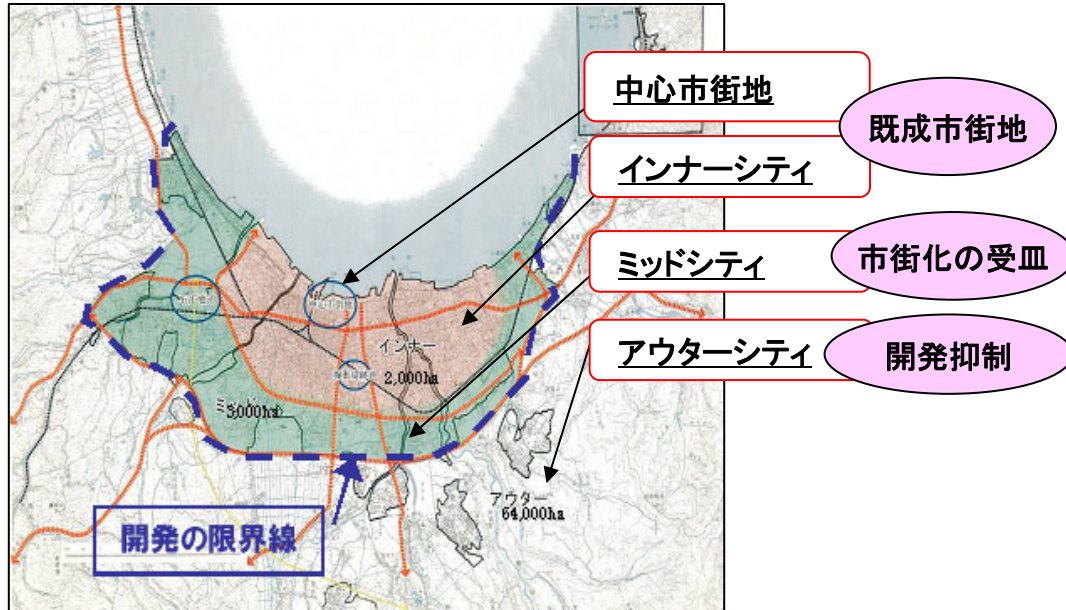
○相談状況

- ・ 認定済みの18市以外に、現在47の自治体が事前相談に来訪。
- ・ 事前相談に来ている47自治体のほとんどが旧基本計画を有している。そのうち、旧基本計画の下で、コンパクトなまちづくりの考え方の普及、区域の見直し、施策の充実・重点化等を積極的に進めてきているところが、申請のための準備が先行している。

認定中心市街地活性化基本計画の概要 (例:青森市・富山市)

周辺部の開発を抑制したコンパクトなまちづくり

青森市



まちなかサポーターズ事業
(しかへらあ〜s)

○高齢者・障害者の買物サポート、観光客の案内等を行う学生による活動。

※)津軽弁で「しかへる」とは「教える」という意味



駅前再開発事業「アウガ」

○平成13年1月にオープン。図書館や男女共同参画プラザなどの公益施設、物販、生鮮市場などの商業施設が入居し、来館者数は年間約600万人。

公共交通の活性化

富山市

○富山ライトレール(旧JR富山港線に比べ、駅数を10→13に、便数を15分間隔(ラッシュ時は10分間隔:以前は30~60分間隔)に増便して利便性を向上し、18年4月に開業。26年度の富山駅高架化に併せ、駅南の路面電車と接続予定)



富山ライトレール

○路面電車を環状線化し、利便性向上(21年度)

○コミュニティバスが中心市街地を巡回

○おでかけバス事業(高齢者の中心市街地へのおでかけが、富山市内どこからでも1回100円)

○車の運転に不安を持つ高齢者が自主的に運転免許を返納した場合に、公共交通利用券2万円分を助成

改正中心市街地活性化法の概要

【目的】 少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進。

【基本理念】 地方公共団体、地域住民及び関連事業者が相互に密接な連携を図りつつ主体的に取り組むことの重要性にかんがみ、その取組に対して国が集中的かつ効果的に支援を行う。

基本方針

中心市街地活性化本部(本部長:内閣総理大臣、構成員:全閣僚)が案を作成し、閣議決定

